

令和5年度 第1回瑞浪市健康づくり推進懇談会

- 会議の日時 令和5年5月29日(月) 午後2時10分～午後3時13分
- 場所:瑞浪市保健センター2階 保健指導室
- 参加者:古積、大塩、石川、有賀、河北、梶田、土本、野々垣、堀田、水野、工藤、事務局

■ 議事

1. 座長の選出(座長:有賀区長会長)

2. 座長あいさつ

3. 議題

(1)みずなみ健康 21(第2次)改定版について

資料1

①20歳代・30歳代健診について

②受動喫煙防止対策について

事務局:資料に基づき事務局説明。

・20歳代30歳代は会社員の方が多いため、会社での健診が多いのでは。自営業の方に受けていただけると良い。

事務局:国民健康保険対象者に案内を通知しているが、まだまだ少ない。受診率増加に向けてさらに取り組んでいきたい。

・歯周病検診を希望者のみに実施しているが全員に受診できる機会としてもらいたい。また、健診を受けている人は未受診者より医療費が10何万円少ないというデータもあるため、できるだけ健診を受けていただくことを啓発していく必要がある。

事務局:健診希望者には、歯周病検診を勧めています。すでにかかりつけ医にて受診している者も多いため、20歳代健診の場で受ける者は少ない。

・学校では歯みがき指導、フッ素塗布があるが、歯間清掃が大事と聞きますので、学校さんでの指導も期待したい。

・薬剤乱用防止の一つとして、たばこの害について学校で教育を行っている。小中学生に対しては行えているが、それ以降はできないので、よい方法があればご意見いただきたい。

・子どもは授業で聞いてきたと家で話をするし、家族に禁煙を勧めてくるため、浸透していると感じる。

(2)母子保健事業について

資料2

資料に基づき事務局説明

・園での歯科健診は年2回実施している。給食後の歯みがきは、コロナ禍で中止していた。今年度から実施に向けて動いている。

- ・小さい頃は歯みがきの習慣づけができればよく、完璧でなくてもよい。母親が仕上げ磨きに力を入れてもらえればよい。コロナ禍ではできなかったことが、徐々にできるようになってきたので、大事な生活習慣を身に着けていただきたい。
- ・学校では、コロナ前では年間 1 回以上授業中に染め出しを行っていた。また夏休みも染め出しも、ラジオ体操のように当たり前のように行っていた。学校によっては水道の蛇口の数が少ないところもあるので、実施しにくい環境もあるが、徐々に再開している。多様な家庭があり、家族に仕上げ磨きをやってもらうことができない家庭もあるので、自分でできることを増やしていき格差が広がらないように対応している。
- ・子育ての状況は変わっている。生の声を聴いて課題を拾い上げて、県の対策と協働して実施していただきたい。
- ・スポーツ面からは、運動していない方は多いと感じている。簡単なことから週 1 回でも習慣化してもらいたい。
- ・20 年前と比べると高齢者夫婦のウォーキングが増えているように感じる。

(3)第49回 瑞浪市健康まつりについて

資料3

資料に基づき事務局説明

・昨年はコロナ禍で悪天候もあり、縮小して実施したが、20人程度の参加しかなく、参加者も高齢でかかりつけ医を持っている方であったため、従事がつらい状態であった。集客する内容を検討いただきたい、また会場をわけると参加者が分散するので一緒にしてはいかがか。

事務局:令和元年度は保健センターと文化センターと2か所で実施した。会場を変更した理由は、西分庁舎が旧保健センターであったため、新しく保健センターを設立したことがある。

・目的達成の意味合いが薄いと感じます。参加者は『ついでに寄る』の発想が大きいと思います。健康となると精神的な問題もある。経済的な問題、ネグレクトなど、本当に来てほしい方は来ない。意欲付けに来てもらうことが第一歩で、健康について意識していただけるよう考えることが必要ではないか。

事務局:49回と会を重ね、各部会からできることをご提案いただいた者を集約している。医師部会とは内容をご相談したい。また、形式についてもどのような方法が市民のための健康づくりにつながるかを検討していきたい。

・目的が重要となるので、従来の踏襲していただきたい。

3 その他

なし。